



第49回 日本フィル夏休みコンサート2023



S席 子供 3,400円／大人 5,400円
A席 子供 2,700円／大人 4,400円
B席 子供 2,000円／大人 3,400円

※ 子供＝4歳～高校生
※ 4歳未満は入場できません。
チケットはお一人一枚ご用意ください。
※ 託児あり

残席
僅少

第2部 バレエ



7月15日 土 14:00 相模女子大学グリーンホール
7月22日 土 13:00 & 16:30 横浜みなとみらいホール
7月23日 日 14:00 江戸川区総合文化センター **完売**
7月24日 月 14:00 ウェスタ川越
7月28日 金 13:00 & 17:00 東京芸術劇場
7月29日 土 13:00 & 16:30 ソニックシティ
7月30日 日 13:00 & 16:30 サントリーホール **完売**

指揮：梅田俊明 お話とうた：江原陽子
バレエ：スターダンサーズ・バレエ団
バレエ演出・振付：鈴木稔

♪特設ページ



第2部 あこがれの ピアノ



8月4日 金 14:00 柏市民文化会館
8月5日 土 13:00 & 16:30 サントリーホール **完売**
8月6日 日 13:00 & 16:30 横浜みなとみらいホール

指揮：大井剛史 お話とうた：江原陽子
ピアノ：上原彩子



【お申し込み】日本フィル・サービスセンター ☎ 03-5378-5911 (平日 10時～17時)
eチケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>



人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。
JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA
——創立指揮者 渡邊 暁雄——

日本フィルハーモニー交響楽団
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

第389回

横浜定期演奏会

389th YOKOHAMA Subscription Concert

2023年7月1日(土) 午後5時開演

横浜みなとみらいホール

5:00pm July 1st (Sat.), 2023, at Yokohama Minato Mirai Hall



主催：公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援：神奈川新聞社、TBS

協力：横浜みなとみらいホール

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（創造団体支援））
独立行政法人日本芸術文化振興会



文化庁



日本フィル横浜定期演奏会 50周年 〈横浜カルチュラル・ワンダーランド〉

もっと楽しく、もっと面白く、より深く！〈横浜カルチュラル・ワンダーランド〉をコンセプトに、歴史、美術、文学… 文化と音楽が響き合う新しいコンサートの楽しみ方を発信いたします。コンセプト監修に横浜国立大学教授の小宮正安氏を迎え、知れば知るほど楽しい時間をお届けしてまいります。

朝日カルチャーセンター横浜教室

横浜定期関連講座 第5弾 開催決定！

『社会文化史から読み解く「ドイツ」と「ブラームス」』講座

2023年7月16日(日) 14:00～15:30

講師：小宮正安(横浜国立大学教授)、佐藤駿一郎(ヴァイオリン)

23/24 シーズン・オープニングから連続して取り上げるブラームスのドイツ・レクイエムと交響曲第1番をより深く知るための講座を開催。また楽員のお話と演奏を交えた解説も好評です。詳細はチラシ・ホームページをご覧ください。

これまでの受講者の感想

小宮先生の解説で曲の歴史的文脈を知り、実演たっぷりの楽器解剖、とても楽しい講座でした。これからクラシックコンサートに行くのがますます楽しみになりそうです。音楽の奥深さに触れた思いです。

シーズンファイナルパーティー

参加費
無料

横浜定期恒例の
シーズンファイナルパーティーが復活！
終演後 1 階客席ホワイエにて
出演者のトーク、楽員による演奏を
お楽しみいただきます。奮ってご参加ください。

※ドリンクの提供は見合わせます。



「旧時代の超克 新時代への挑戦」

旧弊な貴族社会の実体を笑いに包んで風刺した《フィガロの結婚》だけでなく、優美な装いの下に、市民社会のエネルギーを密かに注ぎ込む作品を作り続けたモーツァルト。そして《春の祭典》をはじめ、西洋クラシック音楽の伝統を十二分に身に付けながらも、それを超える世界を創り上げようとしたストラヴィンスキー。文字通りの「旧時代の超克 新時代への挑戦」が響き渡る。

Programs

モーツァルト：

歌劇《フィガロの結婚》K.492 序曲 (約4分)

Wolfgang Amadeus MOZART: "Le nozze di Figaro" K.492 overture

モーツァルト：

ピアノ協奏曲第25番 ハ長調 K.503 (約30分)

Wolfgang Amadeus MOZART: Concerto for Piano and Orchestra No.25 in C-major, K.503

—— 休憩 (15分) Intermission ——

ストラヴィンスキー：バレエ音楽《春の祭典》(約35分)

Igor STRAVINSKY: "Le sacre du Printemps"

指揮：川瀬賢太郎 Conductor: KAWASE Kentaro

ピアノ：菊池洋子 Piano: KIKUCHI Yoko

コンサートマスター：田野倉雅秋 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ：菊地知也 [日本フィル・ソロ・チェロ]

Solo Violoncello: KIKUCHI Tomoya, JPO Solo Violoncello

指揮：川瀬賢太郎

1984年東京生まれ。2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻（指揮）を卒業。これまでに指揮を広上淳一などの各氏に師事。2006年10月、東京国際音楽コンクール〈指揮〉において2位（最高位）に入賞。2011年4月には名古屋フィルハーモニー交響楽団指揮者に就任、2014年4月より神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者に就任（2022年3月末まで）。卓越したプログラミングを躍動感あふれる演奏で聴衆に届けている。

海外においてもイル・ド・フランス国立オーケストラとの共演や、ユナイテッド・インストゥルメンツ・オヴ・ルシリンと共演。

オペラにおいても、細川俊夫作曲《班女》、モーツァルト作曲《フィガロの結婚》、ヴェルディ作曲《アイダ》などを指揮、目覚ましい活躍を遂げている。

2023年4月より名古屋フィルハーモニー交響楽団第6代音楽監督に就任。

現在、オーケストラ・アンサンブル金沢パーマネント・コンダクター、札幌交響楽団正指揮者、三重県いなべ市親善大使。2015年渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2016年第14回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第26回出光音楽賞などを受賞。東京音楽大学作曲指揮専攻（指揮）特任講師。

© Yoshinori Kurosawa



ピアノ：菊池洋子

2002年第8回モーツァルト国際コンクールにおいて日本人として初めて優勝、一躍注目を集めた。その後、ザルツブルク音楽祭に出演するなど国内外で活発に活動を展開し、いまや実力・人気ともに日本を代表するピアニストの一人である。

前橋市生まれ。故田中希代子、故林秀光の各氏に師事。桐朋学園女子高等学校音楽科卒業後、イタリアのイモラ音楽院に留学、フランコ・スカラ、フォルテピアノをステファノ・フィウツツィに師事。

国内主要オーケストラとの共演をはじめ、ザルツブルク・モーツァルテウム管、ハノーファー北ドイツ放送フィル、ベルリン響等と共演。ザルツブルク音楽祭、シュレスヴィヒ＝ホルシュタイン音楽祭等、世界の著名な音楽祭にも度々招かれる。

2009年、2018～2019年には、モーツァルトのピアノ・ソナタ全曲をフォルテピアノとモダンピアノを用いて演奏するといった意欲的な企画に取り組み好評を得た。

バレエとのコラボレーション公演にも積極的に出演し、ディアナ・ヴィシニョワや吉田都、上野水香ほかと共演。CDはモーツァルトを中心としたソロ作品のほか、ホルンの世界的名手ラデク・バボラークと共演したアルバムもリリース。2023年には「バッハ：ゴルトベルク変奏曲」をリリース予定。

前橋市 Presents 舞台芸術祭芸術監督。第1回上毛芸術文化賞（音楽部門）受賞。2007年第17回出光音楽賞受賞。2023年3月よりウィーン国立音楽大学にて後進の指導に当たる。

菊池洋子オフィシャルホームページ yokokikuchipf.com

© Yuji Hori



今日のコンサートの聴きどころは？

音楽評論家 奥田佳道さんの面白解説をお楽しみください！

16時20分
より
大ホール内
にて♪



奥田佳道（おくだ よしみち）● 1962年東京生まれ。ヴァイオリン、ドイツ文学、西洋音楽史を学ぶ。ウィーン大学に留学。「音楽の友」などに寄稿するほか、数々の音楽番組に出演。NHK日曜朝のラジオ「音楽の泉」第4代解説者。ラジオ深夜便「クラシックの遺伝子」に出演中。著書に「これがヴァイオリンの銘器だ！」他。NPO法人東京ジュニアオーケストラソサエティ理事。

この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムをご用意しております。ご要望の方は主催受付までお申し出ください。

感染予防のご案内



お客様へのお願い ● 演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声や体の動きなどで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

モーツァルト：歌劇《フィガロの結婚》K.492 序曲

《フィガロの結婚》は、元々フランスの劇作家ボーマルシェが書いた喜劇。これに基づき、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト（1756-1791）と台本作家ダ・ポンテがコンビをくんだ同名のオペラが1786年に完成され、彼らの本拠地であるウィーンの宮廷劇場で初演された。

「熱狂の一日」という副題そのままに、喜劇の中に当時の貴族社会に対する風刺が盛り込まれている。またそれゆえ、貴族が幅をきかせていたウィーン以上に、その後プラハでの上演は空前の大成功を収めた。単独の管弦楽曲としてもしばしば演奏される序曲は、急速なテンポとパッセージ、軽快なメロディでこれから展開される「熱狂」の開幕を告げる。

楽器編成 フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ1、弦楽5部。

モーツァルト：ピアノ協奏曲第25番 ハ長調 K.503

モーツァルトはウィーンに移住してから、自らの演奏会のため、次々とピアノ協奏曲を書いた。その証拠に、1782年からの4年間で、第11番～第25番の15曲が生み出されている。

第25番は、このピアノ協奏曲創作期の最終盤に書かれており、壮大なファンファーレから始まる雄大さと軽快さを兼ね備えた作品だ。折しも《フィガロの結婚》が完成・初演されたのと同じ1786年の作品であり、モーツァルトの創作力が頂点に達した時代の、輝かしい成果に他ならない。初演はモーツァルトの弾き振りによりウィーンでおこなわれたが、《フィガロの結婚》がプラハで大当たりしたことを受けたプラハ旅行でも、モーツァルト自身によって再演されている。それだけの自信作だったのだろう。

第1楽章：アレグロ・マエストーソ、ハ長調、4分の4拍子、ソナタ形式

第2楽章：アンダンテ、ヘ長調、4分の3拍子、ソナタ形式

第3楽章：アレグレット、ハ長調、4分の2拍子、ロンド形

楽器編成 独奏ピアノ、フルート1、オーボエ2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ1、弦楽5部。

ストラヴィンスキー：バレエ音楽《春の祭典》

20世紀を代表するロシア出身の作曲家の1人、イーゴリ・ストラヴィンスキー（1882-1971）。その長い生涯の中で彼が残した数多くの作品の中で、その名声を決定づけたものが、彼が祖国を離れフランスで活躍していた時代に書かれた《火の鳥》《ペトルーシュカ》《春の祭典》といった初期バレエ音楽だ。ヴァーツラフ・ニジンスキーをはじめとする優れた舞踏家を擁したバレエ・リュス（ロシア・バレエ団）と、その主催者であり興行主として天才的辣腕をふるったセルゲイ・ディアギレフの功績もあって、これらのバレエ三部作は、当時無名の青年作曲家であったストラヴィンスキーの才能を世界に知らしめた。

《春の祭典》は、ストラヴィンスキー自身の不気味な白昼夢に着想を得て作曲された。何しろ原題のフランス語を直訳すると、「春の人身供犠」となるほどで、白昼夢の中身そのものも「ロシア古代の異教徒の祭典。春の神へのいけにえに選ばれた若い娘が、祭司たちの見守る中で死ぬまで踊りつづける」というもの。初演は1913年5月20日、パリのシャンゼリゼ劇場でおこなわれるが、会場に集った聴衆の間では、クラシック音楽史上でも語り草になるほどの大パニックが起きた。

そこまでの騒動となったのは、ストーリーの内容がまがまがしく、さらにストラヴィンスキーの音楽が革新的だったからに他ならない。それでもそんな革新性の数々——異なる調性の和音を同時に響かせる色彩的手法や不等分なリズム、さらには暴力的な響きも辞さない管弦楽の機能拡大など——は、今世紀の音楽に多大な影響をもたらし、現在ではオーケストラの人気レパートリーの1つとなっている。

音楽は大きく2部に分かれ、それぞれ以下のような内容となっている。

【第1部：大地礼賛】

序曲：高音域のファゴットに先導されて、さまざまな姿態のモティーフが目ざめる。春の魔力が眠っていた生命力を呼び起こすかのように、複雑な音響のタペストリーが展開する。

春の兆しと若い娘たちの踊り：前部分で目覚めた春の力は、大地を揺るがすような原始的力動のリズムへと変貌する。ホルンが先導する旋律が重なり合いつつ、第1のクライマックスに向かう。

掠奪遊戯：対立する色彩、不規則リズムにより、原始的な略奪婚の模様が生々しく描かれる。

春のロンド：陽炎の中から湧き出る牧歌と、重々しいステップの民舞。

敵対する街の遊戯：全音階的旋律が、対立する色彩（複調）によってカラフルな変容を遂げる。

賢者の行列：金管の咆哮が告げる賢者の到来と、複リズムによる他楽器群の歓喜の声。

賢者：沈黙のうちに大地にひれ伏す賢者の儀式。

大地の踊り：神聖な儀式ののち、群集入り乱れてハレの雰囲気盛り上げる。

【第2部：いけにえ】

序曲：原初の闇を描くような開始部。第1部終曲に描かれた祭りの後の脱力感を思わせる。

若い娘の神秘的な集い：いけにえとなる若い娘を選ぶ儀式が、神秘的な緊迫感の中で進められる。

選ばれた処女の賛美：奇数拍子の変則的なリズムの絡み合う舞曲。

祖霊の召喚：輝かしいファンファーレが鳴り響き、祖先の霊魂の召喚が行われる。

祖先崇拝儀礼：単調なリズムが刻まれ、音楽は呪術的な様相を帯びて進行する。

神聖な舞踏（選ばれた処女）：いけにえの処女は法悦のうちに乱舞し息絶える。いけにえを受けいれた神を讃える異教的かつ熱狂的なフィナーレ。

楽器編成 ピッコロ1、フルート3（ピッコロ持替1）、アルト・フルート1、オーボエ4（イングリッシュ・ホルン持替1）、イングリッシュ・ホルン1、Es管クラリネット1、クラリネット3（バス・クラリネット持替1）、バス・クラリネット1、ファゴット4（コントラ・ファゴット持替1）、コントラ・ファゴット1、ホルン8（テナー・チューバ持替2）、ピッコロ・トランペット1、トランペット4（バス・トランペット持替1）、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、チューバ2、ティンパニ2、太鼓、トライアングル、アンティークシンバル、タムタム、タンブリン、ギロ、弦楽5部。



Column

歴史でひもとく! ~クラシックこぼれ話 by 小宮正安



《春の祭典》と「伝統」

1913年に初演されたストラヴィンスキーの《春の祭典》。解説にもある通り、観客の間で起きた大パニックは、今なお語り草になっている。何しろバレエの公演といえば、原則的にはそれなりに居住まいを正して鑑賞するもの（あるいはもっと緩くても、どこか楽しみながら接するもの）、と相場が決まっていた。にもかかわらず、そうした客席の不文律がなぜ引っくり返されるような事態が起きたのか？

もちろん、ストラヴィンスキーのバレエ音楽に具わった、大規模な不協和音や叩きつけるようなリズム、暴力的な響きが原因となったことは間違いない。あるいは、そうした音楽に対応するかのように、伝統的なバレエではありえないカクカクとした動きを基調としたニジンスキーの振り付け、伝統的な優雅さを重んじるバレエの公演とは対照的な土俗的衣装や舞台装置が、観客のショックを巻き起こしたことも。

ただし、これらはあくまで「発信する側」の問題にすぎない。「発信される側」である観客がなぜパニックに陥ったのかといえば、新たな時代のバレエ様式を求める人々と、古い時代のそれを求める人々が、同時に客席にいたためだ。普通であれば、そのようなことなど起りえない。自分の興味が湧かないものに、わざわざ金と時間を犠牲にして行く人間など、そう多くはないからである。

ところが、《春の祭典》の初演はそうではなかった。いや、さらにいえば《春の祭典》をプロデュースしたディアギレフが企画した一連のバレエ公演はそうではなかった。というのも彼は、時代の曲がり角に差し掛かりつつあったヨーロッパの中心地パリで、文化に新風を吹き込むことを通じ文化そのものの活性化を狙ったからである。しかも、閉塞状態にあった故郷を離れ、本当の自由を求めてパリで活躍しているロシアの芸術家たちを集めて。

そうした文化の積極的な擁護の姿勢が、パリの人々に大いに受けた。まただからこそ、異なる価値観の観客がディアギレフの企画に一堂に集ったまではよいが、革新的すぎる上演ゆえに大騒動が起きたのである。…というわけでその後の再演では、初演のような騒ぎにはならなかった。バレエの伝統も、さらにいえばクラシック音楽の伝統も、《春の祭典》によって再び力を得たのだから。



《春の祭典》初演にあたっての衣装と舞台装置

Next YOKOHAMA

お得な
定期会員券
販売中!

〈ドイツ〉への想い

第390回横浜定期演奏会

—日本フィル協会合唱団創立50周年記念—

2023年9月9日(土) 17:00 横浜みなとみらいホール

指揮: 園田隆一郎

ソプラノ: 砂川涼子 バリトン: 平野 和

合唱:

日本フィルハーモニー協会合唱団

ブ람ス:

ドイツ・レクイエム op.45

© Fabio Parezan

© Yoshinobu Fukaya

© 武藤章



園田隆一郎



砂川涼子



平野 和

S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P 合唱団席 Ys (25歳以下) ¥1,500

※ Ys席はS席以外から選べます。 ※障害者手帳をお持ちの方は、サービスセンターへお問い合わせください。

好評発売中!

第401回名曲コンサート (秋季セット券対象)

2023年9月10日(日) 14:00 サントリーホール

指揮: 小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

ヴァイオリン: 高木凜々子 *

オルガン: 石丸由佳 **

J.S. バッハ: G線上のアリア **

J.S. バッハ: トッカータとフーガ ニ短調 BWV565**

(以上2曲オルガン独奏)

エルガー: 愛の挨拶 *

マスネ: タイスの瞑想曲 *

サラサーテ: ツィゴイネルワイゼン *

サン＝サーンス: 交響曲第3番《オルガンつき》ハ短調 op.78**

S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,000 Ys (25歳以下) ¥1,500 Gs (65歳以上) ¥5,000

日本フィル&サントリーホール にじくら〜トークと笑顔と、音楽と 第2回

2023年9月26日(火) 14:00 サントリーホール

指揮: 広上淳一

ヴァイオリン: 成田達輝

ピアノ: 萩原麻未

ナビゲーター: 高橋克典

サン＝サーンス (イザイ編曲): ワルツ形式の練習曲によるカプリース

モーツァルト: ピアノ協奏曲第21番 ハ長調 K.467 より 第2楽章

メンデルスゾーン: ヴァイオリン、ピアノと弦楽のための協奏曲 ニ短調 より 第3楽章

チャイコフスキー: 幻想序曲《ロメオとジュリエット》

オルガン・
プレコンサート
13:40 ~

【1回券】 S席 ¥5,500 A席 ¥3,800 S席ペア ¥10,000 (S席2枚)

■門脇大樹(かどわきひろき)氏 ソロ・チェロ就任について

日本フィルハーモニー交響楽団は、門脇大樹氏を9月よりソロ・チェロとして迎えることになりました。9月から新たな体制でより充実した演奏をお届けしてまいります。

【メッセージ】

この度、ソロ・チェロに就任させていただく門脇大樹です。
日本フィルの様な歴史あるオーケストラで演奏できる事をとても光栄に思います。これから日本フィルの一員として演奏を重ねる中で、更なるオーケストラの発展に貢献できる様自分なりに最善を尽くしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



■「5分でわかる! 大人のためのオーケストラ入門」リニューアル!

たった5分で演奏会が10倍楽しくなる、月に2回の日本フィルYouTube番組。音楽評論家奥田佳道さんが、映画プロデューサー村上典史さんの質問にわかりやすく答えます。9月公演からは内容もリニューアル! たくさんありすぎてどれに行けばいいかわからない! という方、今月のイチオシをさまざまなテーマでお届けします。9月公演のイチオシは7月10日、17日に配信予定です。

※内容やタイトルが変更になる可能性があります

@JapanphilMovie

■東京定期演奏会は金曜もプレトーク「本日の聴きどころ」開催

これまで土曜限定だったプレトーク「本日の聴きどころ」を、好評につき2023年9月より東京定期演奏会の金曜日にも開催いたします。

出演者や音楽評論家等が演奏会の前に舞台上で本日の公演についてわかりやすく解説いたします。ご自身のお席でお楽しみください。

■テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組! 『Welcome クラシック』BS朝日 毎週水曜日 22:54~23:00 (第3週、第4週は再放送)。マエストロが最近の演奏会の映像とともにクラシックの魅力を紐解きます。

■本日の公演は終演時のカーテンコールでの写真撮影が可能です。

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のまま撮影をお願いいたします。フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

◆定期会員券ご寄付のお願い◆

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

【ご寄付の方法】

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご送付ください。主催会場でも受け付けます。

- 公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。●会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただけます様ご協力をお願いいたします。
- ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送いたします。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願いいたします。

横浜定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。
心より御礼申し上げます。

日本フィル・サービスセンター
〒166-0011
東京都杉並区梅里1-6-1

TEL: 03-5378-5911 (平日10時~17時)
FAX: 03-5378-6161 (24時間)
e-mail: order-ticket@japanphil.or.jp

5月の寄付者 匿名7名
6月の寄付者 匿名5名

敬称略・五十音順

「ミュージックポート ヨコハマ・シリーズ」定期会員の特典

横浜ベイホテル東急(横浜みなとみらいホール向かい)にて、メンバーズ優待を行っております。

飲食: 下記店舗で、飲食料金が10%OFFとなります。(4名様まで) ※除外日および対象外メニューあり

オールディダイニング「カフェ トスカ」/ラウンジ「ソマーハウス」/日本料理「大志満」
中国料理「スーヅァンレストラン陳」

※会計時に「ミュージックポート ヨコハマ・シリーズ」定期会員券をご提示ください。※この割引は日本フィルのコンサート開催日以外にも有効です。
※指定以外の店舗、および宴会は対象外です。ご了承ください。※他の特典・割引との併用はいたしかねます。

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 (1956年6月創立)

- 創立指揮者/渡邊曉雄
- 桂冠名誉指揮者/小林研一郎
- 名誉指揮者/ルカーチ・エルヴィン
- 名誉指揮者/ジェームズ・ロッドラン
- 客員首席指揮者/ネーメ・ヤルヴィ
- 首席指揮者/ビエタリ・インキネン
- 桂冠指揮者兼芸術顧問/アレクサンドル・ラザレフ
- フレンド・オブ・JPO (芸術顧問) /広上淳一
- 首席客演指揮者/カーチュン・ウォン



公式Twitter
@Japanphil



公式
アカウント



ソロ・コンサートマスター 扇谷泰朋 木野雅之 田野倉雅秋 アシスタント・ コンサートマスター 千葉清加 第1ヴァイオリン 伊藤太郎 太田麻衣 九鬼明子 齋藤政和 神 渚 竹歳夏鈴 谷崎大起 田村昭博 中谷郁子 西村優子 平井幸子 本田純一 □松川葉月 第2ヴァイオリン 遠藤直子 大賀聖子 岡田紗弓 加藤祐一 ○神尾あずさ 川口 貴 佐藤駿一郎 末廣紗弓 豊田早織 町田 匡 山田千秋 ヴィオラ ☆安達真理 小俣由佳 小中澤基道 児仁井かおり 高橋智史 中川裕美子 中溝とも子 松澤雅奈	ソロ・チェロ 菊地知也 チェロ 石崎美雨 伊堂寺 聡 江原 望 大澤哲弥 久保公人 山田智樹 コントラバス 鈴村優介 ○高山智仁 成澤美紀 ○宮坂典幸 森田麻友美 山口雅之 フルート 齋藤光晴 難波 薫 ○真鍋恵子 オーボエ 佐竹真登 ○杉原由希子 ○松岡裕雅 クラリネット ○伊藤寛隆 ○楠木 慶 照沼夢輝 堂面宏起 ファゴット 大内秀介 ○鈴木一志 ○田吉佑久子 中川日出鷹 ホルン 伊藤 舜 宇田紀夫 ○信末碩才 原川翔太郎 ☆丸山 勉 村中美菜	ソロ・トランペット オッタビアーノ・ クリスト・フォリ トランペット □大銅伸紀 ○大西敏幸 中里州宏 中務朋子 星野 究 トロンボーン ○伊藤雄太 □笠間勇登 バス・トロンボーン 中根幹太 テューバ 柳生和大 ティンパニ ○エリック・バケラ パーカッション 大河原 渉 ハーブ 松井久子 楽団長 中根幹太 チーフステージマネージャー 阿部紋子 ステージスタッフ 長橋健太 森田大翔 チーフインスペクター 佐藤駿一郎 インスペクター 宇田紀夫 鈴木優介 ライブラリアン 鬼頭さやか 杉本哲也 ○首席奏者 ○副首席奏者 ☆客演首席奏者 □試用期間	理事長(代表理事) 平井俊邦 副理事長(代表理事) 五味康昌 専務理事(代表理事) 福井英次 常務理事(代表理事) 後藤朋俊 常務理事(代表理事) 中根幹太 理事 石井啓一郎 遠藤 滋 佐々木経世 田村浩章 戸所弘 福本ともみ 監事 上條貞夫 福澤宏哉 評議員会会長 加藤丈夫 評議員 青井 浩 安孫子 正 荒崎康一郎 石塚邦雄 石村 等 稲垣 尚 内川清雄 大塚宣夫 海堀周造 梶浦卓一 河北博文 喜多崇介 木村恵司 久保田 隆 小林研一郎 島田精久 津田義久 西澤 豊 野間省伸 葉田順治 村上典史 山口多賀幸	名誉顧問 熊谷直彦 島田晴雄 田邊 稔 アドバイザー・ボード 大島 剛 小野敏夫 小網忠明 後藤 茂 武田隆男 田邊 稔 溝口文雄 コミュニケーション・ディレクター マイケル・スペンサー マネジメント・スタッフ 浅見浩司 磯部一史 江原陽子 及川ひろか 小川紗智子 荻島里帆 賀澤美和 柏熊由紀子 小須田明 佐々木文雄 澤田智夫 篠崎めぐみ 清水佑香子 杉山綾子 杉山まどか 高橋勇人 田中正彦 槌谷祐子 中村沙緒里 西田大輔 長谷川珠子 藤田千明 別府一樹 益満行裕 宗澤晶子 山岸淳子 吉岡浩子 シニア・パートナー 新井康允 伊波 睦 永島義郎 南部洋一	団友 青柳哲夫 青山 均 赤堀泰江 新井豊治 伊藤恒男 伊波 睦 遠藤 功 遠藤剛史 大石 修 大川内 弘 大味 知子 寛 美知子 金本順子 蒲谷隆行 川口和宏 菊田秋一 岸良開城 吉川利幸 木村正伸 小林俊夫 小山 清 斎藤千種 佐々木裕司 菅原 光 高木裕子 高木雄司 高木 洋 高倉理実 田沢 烈 立川和男 堂阪俊子 豊盛尚生 豊田尚生 中川二朗 永田健一 中務幸彦 奈切敏郎 橋本 洋 畑井紀代子 平賀法子 福島喜裕 松本克己 松本伸二 三本克郎 宮武良平 三好明子 森 茂 山下進三 山科淑子 山本辰夫 渡辺哲雄
--	--	---	--	--	--

(2023年7月1日現在)